

シラバス情報照会 照会画面

条件指定画面 結果一覧画面 照会画面

シラバス情報

授業情報

授業コード	3232544000	開講キャンパス	泉
授業開講年度	2022年度		
科目コード	5102129920	科目分類	専門科目
科目名称	原典講読 B		
科目英字名称	Reading of Original Texts B		
単位数	1.0		
履修期	後期授業	抽選対象	対象外
代表教員番号	8419369	シラバス投稿状況	投稿完了
担当者	秋葉 勉		
テーマ	アメリカ短編小説の読解と分析		
講義内容	アメリカの代表的な作家であるEudora Weltyの短編小説を読みながら、小説技法や批評論について学ぶ。また、小説の背後にあるアメリカの文化・歴史的背景についても紹介する。毎回、学生中心に分担を決めながら読み進めていく。英語で主に授業を展開するが、日本語も補助的に使用する。		
達成目標	①英語を正確に読解できるようになる。 ②アメリカの小説、歴史、文化的背景が理解できるようになる。 ③英語で自分の意見を言えるようになる。 ④小説の分析方法を習得することができる。 ⑤内容を英語で簡単に説明できる。		
授業計画 第1回	【事前学修】知っているアメリカ人作家1人について調べる 【授業内容】Warming-Up（英語による質疑応答） アメリカ文学について、授業ガイダンス、有効的な英語学習法 【事後学修】アメリカ文学の特徴を簡単にまとめておく。		
授業計画 第2回	【事前学修】Eudora Welty について調べる。 【授業内容】Warming-Up（英語による質疑応答） 作家について、アメリカ文学の概略 【事後学修】作家について要点をまとめる。		
授業計画 第3回	【事前学修】作品の時代背景 について調べる。 【授業内容】Warming-Up（英語による質疑応答） 作品の時代背景、"A Piece of News" p.1 読解① 【事後学修】時代背景をまとめる。語句の確認。		
授業計画 第4回	【事前学修】Realismの文学上の定義について調べる。 【授業内容】Warming-Up（英語による質疑応答） Realismの定義と特徴、"A Piece of News" p.1 読解② 【事後学修】Realism 定義をまとめる。語句の確認。		
授業計画 第5回	【事前学修】symbol, imageの文学上の定義について調べる。 【授業内容】Warming-Up（英語による質疑応答） symbol, imageの定義、"A Piece of News" p.1 読解③ 【事後学修】symbol, imageの定義をまとめる。作品中の単語の確認。		
授業計画 第6回	【事前学修】p.2の単語・語句について調べる。metaphor, simileについて調べる。 【授業内容】Warming-Up（英語による質疑応答） metahor, simileの定義、"A Piece of News" p.2 読解④ 【事後学修】作品中の単語・語句の確認。		
授業計画 第7回	【事前学修】p.2にあるsymbol, imageについて調べる。 【授業内容】Warming-Up（英語による質疑応答） "A Piece of News" p.2 読解⑤ 【事後学修】作品中の単語・語句の確認。p.2 にあるsmybolやimageを確認する。		

授業計画 第 8 回	<p>【事前学修】 metaphorとsimileの文学上の定義について調べる。</p> <p>【授業内容】 Warming-Up (英語による質疑応答) metaphor、image の定義・特徴、"A Piece of News" p.3 読解⑥</p> <p>【事後学修】 作品中の単語・語句の確認。</p>
授業計画 第 9 回	<p>【事前学修】 作品中にあるmetaphor(simile)について調べる。</p> <p>【授業内容】 Warming-Up (英語による質疑応答) "A Piece of News" p.3 読解⑦</p> <p>【事後学修】 作品中の単語・語句の確認。p.3 にあるsmybolやimageを確認する。</p>
授業計画 第 1 0 回	<p>【事前学修】 作品中にあるmetaphor(simile)について調べる。</p> <p>【授業内容】 Warming-Up (英語による質疑応答) "A Piece of News" p.4 読解⑧</p> <p>【事後学修】 作品中の単語・語句の確認。metaphorやimageの確認。</p>
授業計画 第 1 1 回	<p>【事前学修】 前半の解釈の部分について調べ、自分の意見をまとめる。</p> <p>【授業内容】 Warming-Up (英語による質疑応答) 作品前半部の問題点、"A Piece of News" p.4 読解⑨</p> <p>【事後学修】 作品中の単語・語句の確認。p.4 にあるsmybolやimageを確認する。</p>
授業計画 第 1 2 回	<p>【事前学修】 後半の解釈の部分について調べ、自分の意見をまとめる。</p> <p>【授業内容】 Warming-Up (英語による質疑応答) "A Piece of News" p.5 読解⑩</p> <p>【事後学修】 作品中の単語・語句の確認。</p>
授業計画 第 1 3 回	<p>【事前学修】 Webを利用してこの作品についての資料を調べる。</p> <p>【授業内容】 Warming-Up (英語による質疑応答) "A Piece of News" p.5 読解⑪</p> <p>【事後学修】 作品中の単語・語句の確認。p.5 にあるsmybolやimageを確認する。</p>
授業計画 第 1 4 回	<p>【事前学修】 大学図書館、インターネットにおいてこの作品の資料(批評論文) を調べる。</p> <p>【授業内容】 作品後半部の問題点、先行研究の分析。</p> <p>【事後学修】 どのような研究分析が行われているかまとめる。</p>
授業計画 第 1 5 回	<p>【事前学修】 自分で選んだ批評についてまとめる。</p> <p>【授業内容】 作品解釈に関するディスカッション、到達度確認のためのテスト</p> <p>【事後学修】 文学作品の分析方法を整理すること。作品の内容と技法をまとめておく。</p>
授業計画 第 1 6 回	
授業計画 第 1 7 回	
授業計画 第 1 8 回	
授業計画 第 1 9 回	
授業計画 第 2 0 回	
授業計画 第 2 1 回	
授業計画 第 2 2 回	
授業計画 第 2 3 回	
授業計画 第 2 4 回	
授業計画 第 2 5 回	
授業計画 第 2 6 回	
授業計画 第 2 7 回	
授業計画	

第28回	
授業計画 第29回	
授業計画 第30回	
成績評価方法	<p>manabaのレポート機能を使ってレポートを提出させて評価をする。</p> <p>(1)課題・小テスト(複数回)：主として達成目標①②③の達成度を測定。(15点)</p> <p>(2)確認テスト(1回)：主として達成目標①②③④の達成度を測定。(配点60×1回=60点)</p> <p>(3)英語の質問への対応(5回)：主として達成目標③⑤の達成度を測定。(配点2点×5回=10点)</p> <p>(4)受講態度・授業貢献度・積極性で最大15点。</p> <p>※各評価方法と評価基準・観点の詳細は開講時に説明。</p>
学修に必要な準備	英和・英英辞典を準備すること。質問がある場合は教室内でも研究室でも可能。
関連して受講することが望ましい科目	英米文学、英米文学史
テキスト	開講時に指示する。
参考文献	必要に応じて指示する。
履修上の注意	<p>①必ず予習をして授業に参加すること。</p> <p>②質問がある場合は教室内でも研究室でも可能。</p> <p>③授業は基本的に英語で行う。必要に応じて日本語を補助的に用いる。</p> <p>④常に英語で考える習慣と身に付けておくこと。</p> <p>⑤オフィスアワー、担当教員のアドレスを開講時に公開する。</p> <p>⑥授業の5分の1を超えて欠席した場合は、確認テストの受験資格を失う。</p>
カリキュラム中での位置付け及び教育目標との関連	<p>この科目とディプロマ・ポリシーとの関係については、学科の「カリキュラムマップ」を参照のこと。</p> <p>【双方向型授業】</p> <p>【アクティブラーニング科目】</p>
添付ファイル1	説明1
添付ファイル2	説明2
添付ファイル3	説明3
添付ファイル4	説明4
添付ファイル5	説明5
関連URL1	
関連URL2	
関連URL3	

教室情報

項番	履修年度	開講期	曜日	使用開講期	教室
1	2022年度	後期授業	木曜2校時	後期授業	泉) 31C講義室

カリキュラム情報

項番	学生区分	所属区分	学部	学科	専攻・コース	適用入学年度
1	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2015年度～2016年度
2	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2015年度～2018年度
3	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2017年度～2018年度
4	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2019年度～2019年度
5	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2019年度～2100年度
6	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2020年度～2100年度
7	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2015年度～2016年度
8	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2015年度～2018年度
9	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2017年度～2018年度

10	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2019年度～2019年度
11	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2019年度～2100年度
12	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2020年度～2100年度
13	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2015年度～2016年度
14	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2015年度～2018年度
15	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2017年度～2018年度
16	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2019年度～2019年度
17	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2019年度～2100年度
18	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2020年度～2100年度
19	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2015年度～2016年度
20	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2015年度～2018年度
21	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2017年度～2018年度
22	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2019年度～2019年度
23	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2019年度～2100年度
24	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2020年度～2100年度
25	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	韓国・朝鮮語コース	2015年度～2016年度
26	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	韓国・朝鮮語コース	2015年度～2018年度
27	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	韓国・朝鮮語コース	2017年度～2018年度
28	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	韓国・朝鮮語コース	2019年度～2019年度
29	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	韓国・朝鮮語コース	2019年度～2100年度
30	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	韓国・朝鮮語コース	2020年度～2100年度